

ごみは必ず持ち帰りましょう。  
 きめられた場所以外の森の中の喫煙・たき火はやめましょう。  
 動物や植物の採取禁止区域では山菜取りなどはやめましょう。  
 林道・自然歩道・散策路以外の区域には立ち入らないようにしましょう。  
 ベットの持ち込み、特に犬の放し飼いやフンの放置はやめましょう。

**交通機関のご案内**

**札幌ふれあいの森**  
 ○中央バス【バス停】「ふれあいの森」下車 徒歩1分  
 ・有明線【福87】 地下鉄福住駅→すすらん公園東口

**自然観察の森**  
 ○中央バス【バス停】「白旗山競技場入口」下車 徒歩40分  
 ・有明線【福87】 地下鉄福住駅→有明小学校  
 ・有明線【大87】 地下鉄大谷地駅→有明小学校

**有明の滝自然探勝の森**  
 ○中央バス【バス停】「三滝の沢」下車 徒歩1分  
 ・有明線【福87】 地下鉄福住駅→すすらん公園東口  
※有明線【福87】は臨時運行になります。すすらん公園東口行きは4月下旬から11月上旬の土・日・祝日と7月中旬から8月中旬までの毎日の運行。それ以外の期間は有明小学校発着となります。  
 ※バスの運行期間は年により変わりますので、詳しくは中央バス札幌ターミナル総合案内所(011-231-0500 7:30~19:00)にご確認ください。

**お問い合わせ**  
 ふれあいの森・木工館・炭火焼コーナー・自然観察などについて  
 ふれあいセンター  
 開館日 4月下旬~11月上旬 (毎日開館)  
 休館日 11月上旬~4月下旬  
 開館時間 9:00~17:00  
 住所 札幌市清田区真栄386番地  
 電話/FAX 011 (883) 8931

**かんじき貸し出しなどについて**  
 白旗山森林活用センター  
 開館日 11月上旬~3月31日  
 (年末年始及び月曜日を除く毎日)  
 休館日 4月1日~11月上旬  
 開館時間 9:00~17:00  
 住所 札幌市清田区真栄494番地の2  
 電話/FAX 011 (881) 4196

**その他白旗山都市環境林に関すること**  
 札幌市みどりの推進部みどりの管理課  
 住所 札幌市中央区南1条東1丁目  
 大通バスセンタービル1号館6階  
 電話 011(211)2522 FAX 011(211)2523  
 H P http://www.city.sapporo.jp/yokuka/midori/shizen/index.html

**アクセスマップ**



ふれあいの森では、楽しいイベントを企画していきます。どうぞご期待ください。

発行：札幌市環境局みどりの推進部みどりの管理課  
 制作・印刷：㈱プリプレス・センター  
 札幌市 02-05-10-110 22-248

**いま**

白旗山都市環境林では、植林したカラマツの手入れを続けながら、ミズナラなど広葉樹を植えて針葉樹と広葉樹が混じり合った森とする取り組みを進めています。  
 また、林内には「ふれあいの森」と「自然観察の森」があり、それらを結ぶ自然歩道や、陶芸窯、木工館、炭火焼コーナーなどのほか、西阿や休憩舎もあり、気軽に森や自然とのふれあいを楽しめるようになっています。これらの森や施設の利用を通じて、白旗山は清田区のシンボルに選ばれるなど地域をはじめ、多くの方々に親しまれています。

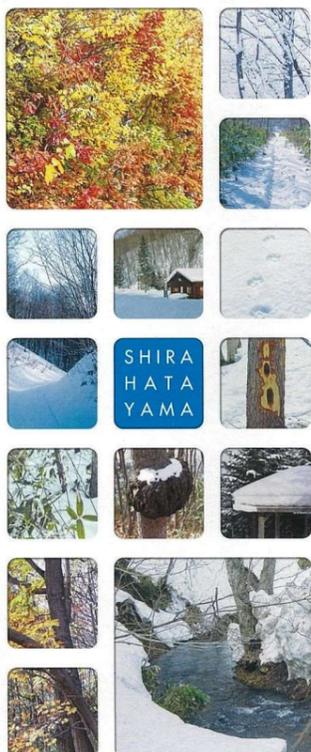
さらに、隣接する有明の滝都市環境林には「自然探勝の森」があり、散策路を歩きながら間近に2つの滝をみることが出来ます。

**これから**

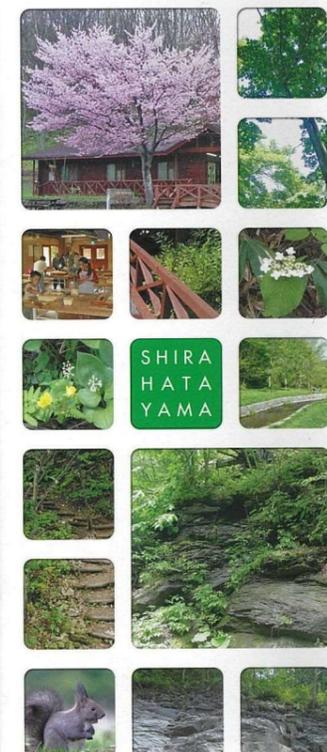
白旗山都市環境林では、森の手入れや木材の生産などを続けながら、より多くのみなさんが森とのふれあいを楽しみ、林業や森林について理解を深めていただくことにより、札幌の森林や豊かな自然を未来に引き継いでいけるよう、みなさんと一緒に、この森を大切に育てていきます。

さあ、森の中へ

**みんなでいこう!!**  
**白旗山**  
 活用ガイド



**きっと好きになるよ!!**  
**白旗山**  
 活用ガイド



ようこそ、白旗山へ

**森のはたらき**

森林は、その土地にもともとあった樹木が大小入り混じって生えているのが最も生きいきとしています。そこにはたくさんの鳥、虫、草花などが生きています。  
 空気をきれいにし、私たちが出した二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐなど森林は、私たちの生活を支え環境を守る大切な働きをしています。  
 そして、森の中は、訪れた私たちを心地よくしてくれ、癒いの場としても最適です。

**これまで**

札幌市が所有する最大の森林である白旗山では1913(大正2)年からカラマツの植林がはじまり、これまでにたくさんの木材を供給してきました。  
 一方、都市化が進むなか、自然環境の大切さが叫ばれ、自然とのふれあいの場が求められるようになり、  
 札幌市では1993(平成5)年から、森林を買い取り、森林の持つ大切な働きを守りながら、体験学習や自然観察などのできる「都市環境林」として整備してきました。白旗山はそのひとつです。

**白旗山の森へ探検にでかけよう!!**

森の中には何があるのかな? 森の中では何が出来るのかな? 森の中は楽しい探検の場所だよ。感じる心をもてばもつほど、いろいろな顔を見えてくれる。森っておもしろい!  
 森は、1年中緑の葉をつけ空に向かってまっすぐ伸びるトドマツやエゾマツなどの針葉樹と冬になると葉が落ちるミズナラ、イタヤカエデ、ハルニシ、ナナカマドなどの広葉樹からなりたっているんだ。春には黄緑色の美しい芽生えと色とりどりの花、夏にはふかひ緑、秋には色あざやかな紅葉、そして冬には白銀の世界と四季それぞれの美しさで楽しませてくれるよ。

**服装や道具をチェックしましょう。**

- ①虫に刺されたり、草などにかぶれないよう長袖シャツ、長ズボンを着ましょう。
- ②スズメバチに刺されないよう、夏はできるだけ明るい服でいきましょう。
- ③ぼうしや手ぬぐい・タオルなども忘れずにもっていきましょう。
- ④からだのものをさしを作成しておくことで役にたつよ! 自分のからだは一番身近なものさです。自然観察のめやすになるように、測っておきましょう。
- ⑤ノートや筆記用具、虫めがねや双眼鏡などもあったほうがいでしょう。

**からだのものさし**



**■森のにおいを探そう!**

森に入ったら深呼吸をしてみよう。空気がおいしいよ! 何かにおいはしないかな? 「……」何もおいなんてしない!! そういふ人は、平気で気持ちよさそうところを探して寝転がってみよう。草花のにおい、木の中においなどいろいろなにおいがするはずだよ。

**1 POINT** 注意してみると、木によって葉や幹から出ているにおいが少しずつ違うことが分かります。このにおいの元はフィトンチッドと呼ばれていて、森の空気をすがすがしく、おいしくしているのです。みなさんも森に行ったらおいしい空気をたくさん吸ってみましょう。元気が出えますよ!

**2 POINT** 空気の中には、二酸化炭素というガスが含まれています。二酸化炭素が増えると地球全体が暖かくなって気候が変わるなど、地球に悪い影響を与えています。森はこの二酸化炭素を吸って、私たち人間が生きてするために必要な酸素をばきだしてくれます。もし、森が無くなってしまおうと地球の環境が変わってしまいます。森林を大切にしましょうね!

**豆知識 『フィトンチッド』ってなんだろ?**

「フィトンチッド」とは、植物が備わったときに出る殺菌力を持つ物質のことです。森林浴に行くときさわやかな空気が広がります。かすかな森の香りも感じるでしょう。この正体が「フィトンチッド」なのです。「フィトンチッド」にはリフレッシュや消臭・脱臭・抗菌・防虫など、さまざまな効果があるといわれています。

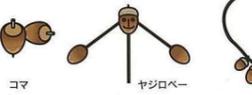


**■森の色を探そう!**

森は、緑のかたまりだと思っただけで、よく見るといろいろな色があるね。木の葉の緑、草の葉の緑、きのこの色や花の色もいろいろです。それに同じ木でも、古い葉と新しい葉では色が違うんだよ。

**■木の実で遊ぼう!**

秋になるといろいろな植物が実をつけ始めるよ。どんぐりなどいろいろな形の木の実を集めて工作をして遊んでみよう!



**■落ち葉で遊ぼう!**

木は毎年たくさんの葉を落とすよ。特に、秋のおりの森は、落ち葉でいっぱいになるから、落ち葉で遊んでみよう!

**1 POINT 落ち葉のふとん**

落ち葉がたくさんあつたら、落ち葉を積み上げて山を作り、もぐってみよう。落ち葉の中は暖かくて、自分が森の地面になって、森を見上げているような感じがして楽しめますよ!

**2 POINT 落ち葉めくり**

落ち葉は毎年落ちるのに、森はどうして落ち葉だらけにならないのだから。腰を下ろして、落ち葉を上から順にめくってみよう。落ち葉は下に行くにしたがって、だんだんほろほろになり、やがて土になってしまいます。これは小さな動物たちが落ち葉を食べたり、きのこが落ち葉から栄養をとっているからなのです。こうして、落ち葉から豊かな土が生まれているわけですよ。

**■そっくりな姿を見破ろう!**

枯れ葉そっくりのガ、鳥のフンに見えるアゲハの幼虫など、森には色や形を工夫した虫たちがたくさんいるよ。それは虫たちが生きのびるための知恵なんだよ。そんな虫たちの姿をいくつ見破れるかな!



**豆知識 森のすばらしいところ**

- ①どんぐりなどの木の実やきのこ、山菜などがたくさん採れます。
- ②えさがたくさんあるので動物たちのすみかになります。
- ③春の新緑、秋の紅葉など、四季それぞれに目を楽しませてくれます。
- ④根によって、水をたくさん貯えてくれるので、洪水を防ぐなど私たちの生活を守ってくれます。
- ⑤二酸化炭素を吸収し、酸素をつくりだすなど地球の環境を守っています。



**■森の中の水を探そう!**

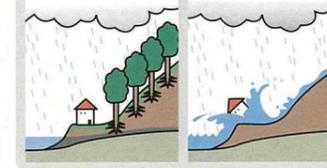
山が多い日本では、自然に出る水、湧き水が多くあるんだ。川の始まりは、この湧き水なんだよ。湧き水は、森の土と山の岩に含まれた地下水が、そのまま出たものなんだ。これが、清らかなせせらぎに変わり、平野に出て、川になり海に注ぐんだよ。きれいな水辺はいろいろな生き物が集まってくる場所だ。白旗山の湧き水を探してみよう!

**1 POINT 森はおいしい水をつくります!**



**2 POINT 森は洪水を防ぎます!**

森がある山に雨が降ると、木の根がスポンジのように雨水を貯えて、長い時間をかけて少しずつ水を流し出す働きをします。だから、森があると、一度にたくさん水が川に流れ出ることはありません。このため、森の中を流れる川は雨が降りあいた降らなくても水が枯れることがありません。しかし、木がない山に降った雨は、地表の土を削りながら一気に川に流れ出てしまい、洪水など災害の原因になります。



**白旗山都市環境林のご案内**

**ふれあいの森** 120ha(ヘクタール)  
 札幌ふれあいの森は、森林、林業、自然のしくみなどの理解を深めてもらう、「森林づくりの体験学習」ができる場所です。また、ミズナラやシラカバ林の中の森林浴を楽しみながら、自然とふれあうことができます。  
 ふれあいセンターをはじめ、陶芸教室なども開催される陶芸窯、いつでも利用できる木工館、炭火焼コーナーや広場があります。また、車いすで利用できる散策路やトイレもあります。

**利用のご案内** 利用時間 9:00開園 16:30まで入園できます。 **入園無料**

施設のご案内	開館時間	開館日	休館日
<b>ふれあいセンター</b> 森林や林業に関する展示をしています。講習会場や休憩など多目的に利用できます。夏は案内人が常駐しており、森の中をいっしょに歩いて、自然観察や森についていろいろ話を聞かれます。	9:00~17:00	4月下旬~11月上旬 (毎日開館)	11月上旬~4月下旬
<b>木工館</b> 木を使った工作を気軽に楽しめられます。木工教室も開催しています。			
<b>炭火焼コーナー</b> 木陰でせせらぎの音を聞きながら炭火焼きが楽しめます。※炭のみの使用となりますのでご協力ください。			
<b>陶芸窯</b> カラマツ間伐材を燃やして使う穴窯です。陶芸教室も開催しています。			

**自然観察の森** 85ha(ヘクタール)

カラマツ、トドマツなどの造林地です。林業の役割や森林の大切さ、また自然の中を歩きながら樹木や森の生き物などについて学ぶことができます。解説板やガイドマップを見ながら個人での利用や案内人による解説も利用できます。また、冬の観察には「かんじき」を無料で貸し出しています。

**自然探勝の森(有明の滝都市環境林内)** 82.8ha(ヘクタール)

ナナカマドの大径木、ハウチワカエデ、ヤマモミジの群生地などを含む天然広葉樹林に覆われた森林の中に総延長5.7kmの散策路が整備されています。特に、秋にはカエデ、モミジのすばらしい紅葉が見られます。また、有明の滝(落差13m)や有明小滝(落差5m)があり、勢いよく落ちる水を間近に見ることができます。

- 自然観察の森、自然探勝の森では5月~10月までの間、巡視員が巡回しています。何か気付いた点がありましたら巡視員に連絡してください。
- 携帯電話は、森の中ではつながりづらい場所がありますのでご注意ください。
- ヒグマの出没により、閉鎖することがあります。

**豆知識 色々ある木の種類。見て覚えよう!**

**常緑樹** 1年中緑の葉をつけている木で、秋になっても葉が落ちません。エゾマツ

**落葉樹** 秋の終わり頃に葉が落ちて、春になると新しい芽がでてる木です。シラカバ

**針葉樹** マツなどのように針のような細長い葉を持つ木です。トドマツ

**広葉樹** 平たくて幅の広い葉をもつ木です。ミズナラ

**■木を植えよう!**

緑を育て、守り、増やしていくために、自分自身で木を植えて育ててみよう。森に行くと緑と親しむのとは、また違う楽しみが生まれるよ。木は寿命が長く、立派に生長するまでに年月がかかるので、育てる楽しみもとても大きいです。私たちの未来のために木を植えよう。



**豆知識 元気な森を育てるにはどうしたらいいんだろ?**

人が木を植えてつくれる森(人工林)を守り育てていくためには、大きくなって混み合った木を切る(間伐)、ササなどを刈る(下刈)、木を切ったあと、また木を植える(植林)などの手入れを続けていくことがとても大切です。